



あけましておめでとうございます

2010年へ一核兵器のない世界のためのキャンペーンスタート!

新しい年、2008年がはじまりました
一人ひとりの行動が世界を変える

イラク戦争開戦から5年余。戦争と占領下で亡くなったイラク市民は65万人以上といわれています。無法な戦争への批判が世界中で高まるなか、戦争をしかけた米ブッシュ政権は孤立し、スペイン、イタリアに続いて、イギリス、オーストラリアなど戦争を主導した国すべてで権指導者が退陣しました。

日本でも安倍首相が退陣し、インド洋から自衛隊艦艇が撤収しました。それぞれの国での反核・平和の声と行動が世界を動かしています。

「核兵器のない世界」は圧倒的多数の声

核兵器をめぐっても、昨年12月の国連総会で核兵器廃絶の約束実行を求める決議が賛成156、反対5の圧倒的大差で採択されました。いま核兵器のない世界への流れが確実にひろがっています。

その流れに逆らっているのがアメリカなど少数の核兵器国です。ブッシュ米大統領は「核拡散は脅威だが、アメリカの核は安全の保障」などと言って自国の核保有を正当化し、核兵器の使用を公然とかけかけています。先の国連総会でも米政府は、非核国に核兵器を使用しないとの確約や包括的核実験禁止条約（CTBT）に1国のみ反対したほか、核兵器関連の主要な決議すべてに反対票を投じました。しかし、こうした横暴な態度はもはや国際政治に通用しません。

核兵器廃絶、非核平和の日本へ いま行動のとき

福田首相は就任早々、ブッシュ米大統領を訪ねて自衛艦のインド洋での補給活動の再開や日米同盟の強化を約束するなど、対米追随の道をすすんでいます。いま日本政府がなすべきことは、世界で唯一の被爆国の政府として核兵器廃絶の先頭に立つことです。

2年後の2010年核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて、核兵器のない世界をめざす行動が世界中ではじまっています。

核兵器廃絶を求める署名や原爆写真展、日本政府に「非核日本宣言」をもとめる運動、全自治体をつなぐ平和行進など多彩な行動がはじまります。ぜひ、あなたも「草の根」の行動にご参加ください。

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www10.plala.or.jp/antiatom>

